

校長室から

心訓

福澤 諭吉

世の中で一番楽しく立派なことは
生涯を貫く仕事を持つことです。

世の中で一番みじめなことは
人間として教養がないことです。

世の中で一番さびしいことは
する仕事のないことです。

世の中で一番みにくいことは
他人の生活をうらやむことです。

世の中で一番尊いことは
ひとのために奉仕し、
決して恩にきせないことです。

世の中で一番美しいことは
全てのものに愛情をもつことです。

世の中で一番悲しいことは
うそをつくことです。

2学期に向けて心新たに思うこと

いよいよ2学期が始まりました。1年間の中で一番長い学期です。季節でいうと夏から秋そして冬と3つの季節が移り変わっていきます。

私たち教職員は、夏季休業中でも、お盆を挟む時期以外は学校に来て、日頃できない研修や備品確認や職員作業で物の修理をしたり、配置換えをしたり、使えなくなった物などの廃棄処分を行ったりもします。

日常とは違う時間を学校という空間で行いながら、日々接する児童にどのような力を付けなければならないか考えたり、指導方法の工夫や改善を考えたりします。そして、2学期からこのような授業をしたい、このような子どもに成長してほしいという決意や願いをもって2学期のスタートを迎えます。

このような時期に「心訓」という分かりやすい7つの教えをもとに、教職員であることの原点をふり返ってみることも大切であると考えます。

私たち教職員は、広島県教育委員会が示す「求められる教職員像」4つの姿を胸の名札の裏側に入れて、常に意識しながら生活しています。

改めて、教育者としての教育的愛情と使命感をもって、日々の実践を大切にする教職員でありたいと考えています。2学期も教職員一同精一杯がんばります。